

## 平成 27 年度 第 3 回坂井市地域公共交通会議

開催日時：平成 28 年 3 月 16 日（水）午前 10 時 00 分から午前 11 時 20 分

場 所：坂井市役所 301 会議室

出席者：浅沼会長、渡辺委員、阿津川委員、野村委員、森委員、阿古江委員、竹内委員、  
岡田委員、猪嶋委員、村中委員、野尻委員、小林美委員、大久保委員、佐々木委員、  
岡永委員、矢部委員、岡部委員

事務局：黒川部長、齊藤課長、東山課長補佐、奈須田主査

### 1. 開会

委員出席状況・会議成立を報告。

### 2. 会長あいさつ

浅沼会長あいさつ。

### 3. 報告事項

#### (1) コミュニティバスの運行実績について

事務局からコミュニティバス運行実績を報告。

#### 【質疑】

(岡田委員)

基幹ルートで、高校生の利用増により前年比 102% で利用者が増えているということですが、10 月以降若干減少傾向にあり、10 月を境に何か変化があったのか要因がわかっているならば教えていただきたい。

(事務局)

基幹ルートの月別利用状況を見ますと冬期間については前年より若干減少しています。冬期間悪天候の際に利用している高校生が、昨年よりも天候が良かったために今年は利用していただけていないのではないかと考えています。

(野村委員)

実績として乗車数などはデータでわかりますが、一人当たりどれくらいの費用がかかっているのかわからない部分があるので、実際に我々の税金も投入して運用しており、できるならば運行にあたって一人当たりどれくらいの費用がかかっているのかというデータも出していただきたい。

(事務局)

コミュニティバスの運行経費については年間9,000万円ほど計上しており、利用者数が9万人ですので、一人当たり1000円ほどかかっております。

(野村委員)

燃料費の増減等で費用は若干変動しますが、だいたいこれくらいというのが地域別にわかるデータがあってもいいのかなと思います。

(事務局)

来年度以降そういったデータも資料として提示していきたいと考えております。

(浅沼会長)

利用者数だけではなく、経営状況も含めてどういう資料が提示できるか事務局と相談、検討していきます。

#### 4. 協議事項

- (1) 鉄道ダイヤ改正に伴うコミュニティバスの運行時刻改正について  
コミュニティバス運行時刻改正について事務局から概要を説明。

##### 【要旨】

- ・3月26日、27日にJR及びえちぜん鉄道のダイヤ改正が予定されており、それに伴いコミュニティバスの運行時刻改正を3月28日に行う。
- ・三国坂井ルート（右回り）第5便の始発バス停「三国駅」から発車時間を2分遅らせ、「JR丸岡駅」でJR下り列車との接続時間を確保する。
- ・丸岡春江ルート（左回り）第5便の「JR丸岡駅」から発車時間を2分遅らせ、「JR丸岡駅」でJR下り列車との接続時間を確保するとともに、三国坂井ルート（右回り）第5便との「いねす」での接続時間調整を図る。

##### 【協議・質疑】

(浅沼会長)

2ルートで改正するということですが、ご意見ありませんか。

見ていただいて問題がなければ、特にご意見ないようですので、今回の運行時刻改正について承認をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(浅沼会長)

ありがとうございます。それでは、コミュニティバスの運行時刻改正については、案のとおり決定します。

(2) 春江病院移転に伴う運行ルート等改正について

コミュニティバス運行ルート等改正について事務局から概要を説明。

路線バス運行ルート等改正について京福バスから概要を説明。

**【要旨】**

コミュニティバス

- ・ 6月1日春江病院の移転に伴い「春江病院」バス停を新設し、5月30日からコミュニティバスを乗り入れる。既存の春江病院バス停については、「江留下屋敷」に名称変更する。
- ・ 丸岡春江ルート（右回り・左回り）については、新設バス停「春江病院」に乗り入れるとともに、接続ルート既存バス停「エンゼルランド」へ乗り入れを行う。
- ・ 長畝ルートについては、同じ車両を使用する丸岡春江ルート（左回り）との接続待機時間を確保するため、運行時刻改正を行う。
- ・ 春江北部東部ルート、春江西部中部ルートについては、新設バス停「春江病院」に乗り入れる。

路線バス

- ・ 路線バス「運転者教育センター線」について、5月30日から福井駅発循環路線の途中で新設バス停「春江病院」に乗り入れる。
- ・ 既存の春江病院バス停及び春江工業高校バス停について、それぞれ「江留下」及び「江留上」に名称変更する。

**【協議・質疑】**

(岡田委員)

丸岡春江ルートにおいて、新設「春江病院」への乗り入れにあわせて、既存接続ルートバス停の中で「エンゼルランド」だけ乗り入れる理由を教えてください。

また、春江病院に新設するバス停ですが、病院の中に入るといふことで、どのようになるのか説明いただきたい。

(事務局)

一点目、「エンゼルランド」乗り入れについて、県の公共施設ということで利用者からも乗り入れの希望があり、「春江病院」バス停新設によりエンゼルランドがルート上に位置することから、乗り入れを行うことにより利便性向上を図りたいと考えています。

二点目、新設バス停「春江病院」については、春江病院入口に向かう通路がロータリー状になっており、侵入方向から時計回りに回り、侵入してきた方向の道路へ出ていくという形になっております。

イメージ的には福井市江上にある福井病院のような形になります。

(猪嶋委員)

事務的な話ですが、運転者教育センター線の変更について、どれくらい走行距離が延びるのかということと、県事務局との協議予定について教えてください。

(矢部委員)

春江病院への延長で概ね200m前後ではないかと考えています。

運輸局への申請、県との協議はこれから調整していきます。

(阿古江委員)

利用者は高齢者と高校生が多いということですが、定期とかそういったものはありますか。

もう一点、利用料金というのは委託業者の収入になるのか坂井市に入るのか参考までにお聞きします。

(事務局)

利用者の定期等について、コミュニティバスはどこまで乗っても一律200円または100円となっていますので、現状定期等は無く、乗る度に200円・100円を入れていただいています。

二点目のコミュニティバス運賃については、一旦運行事業者が受け取り、そのまま坂井市へ納めるような形になっています。

(浅沼会長)

他にご質問はありますか。無ければ提案のあった春江病院移転に伴うコミュニティバスのルート等の改正について、ご異議がなければ承認いただきたいと思います。

(委員)

異議なし。

(浅沼会長)

ありがとうございます。

それではもう一つ、路線バス運転者教育センター線の運行ルート等改正について、こちらもご異議がなければ承認お願いいたします。

(委員)

異議なし。

(浅沼会長)

ありがとうございます。

それでは、春江病院移転に伴う路線バス運行ルート等変更については承認されました。

議題は以上で終了になります。

その他について、事務局お願いします。

## 5. その他

3月27日オープンの福井駅西口バスターミナル詳細について、丸岡城バス停の新設について、任期満了に伴う委員の改選について矢部委員及び事務局から説明。

### 【質疑】

(森委員)

丸岡城バス停の位置というのはどこで決めたのですか。

(浅沼会長)

丸岡城バス停の位置は前回の坂井市地域公共交通会議で決定しました。

(森委員)

丸岡城バス停の位置については、丸岡町民の意向をよく聞いてほしい。

路線バスが丸岡城まで来るなら、朝夕便は丸岡高校へも行く方法を考えていただきたい。

(矢部委員)

丸岡高校の件については、路線バス丸岡線が従来から丸岡高校まで行っており、利便性としてはこれまでと変わらず、これからも路線を維持していく予定です。

(森委員)

J R丸岡駅からバス乗り継ぎによる丸岡高校への交通の便が悪く、丸岡高校生の減少に影響しているのではないか。

(事務局)

J R丸岡駅から丸岡高校方面へのバス乗り継ぎについては、市コミュニティバスが運行しており、丸岡高校生の利用も伸びており、乗り継ぎによる利用もされていると考えております。

(野尻委員)

京福路線バスはJ R丸岡駅から丸岡城へは行かないのですか。

(矢部委員)

J R丸岡駅からの路線は、丸岡のバスターミナルを通過後県立大学、福井大学病院、えちぜん鉄道松岡駅を通過して永平寺口まで行く長い路線であり、これを丸岡城に乗り入れるということになるとさらに路線が長くなり、病院や駅へ行かれる方の利便性を考えると現状のままが良いのではないかとということで、今回の改正では乗り入れを行っておりません。

今後、地元の方のご意見も伺いながら改良を加えていきたいと考えております。

(森委員)

丸岡城を国宝へという動きの中で、J Rからのアクセスがないと不便ということになりますのでよろしくお願いします。

(事務局)

丸岡城バス停の位置については、前回の地域公共交通会議の中で諮っておりますが、関係者と協議したうえで、地元区への事前周知と決定後の案内もしております。

(野尻委員)

J R丸岡駅からの路線バスは丸岡城まで行かないということで、せっかく丸岡城バス停を新設するのであれば配慮が欲しかった。

J Rで丸岡駅まで来た方が、丸岡バスターミナルで降りないといけないというのは、他の路線が丸岡城まで行くのに比べサービス不足ではないか。

(事務局)

今回、やっと路線バスで直接丸岡城へ行けるように京福バスにご努力いただいたわけですが、今後、新幹線延伸やJ R第三セクター化を控え、鉄道・路線バス・コミュニティバスをさらに利便性が高いものにしていくために、市・関係機関が情報交換しながら検討していきたいと考えています。

(浅沼会長)

貴重なご意見ですので、今後知恵をいただきながら検討課題としていければと思います。

(野村委員)

観光バスで丸岡城を巡るようなものはありますか。

(矢部委員)

現在は、定期観光バスというようなものは運行しておりません。

その変わり、路線バスを使って巡っていただくために観光客向けにフリー切符を販売しております。

(野村委員)

北陸新幹線開業以来、あわら温泉駅でレンタカーを借りて恐竜博物館などの観光地へ行く等、福井へ来る方が増えていると聞いています。

丸岡城や東尋坊へのアクセスの需要も増えていると思いますので、坂井市の名勝を含めて巡ることが出来るものがあると観光地も発展するのではないかと。

(浅沼会長)

コミュニティバスを含めて今後の在り方は検討していく必要がありますし、観光だけではなくどういったところに力を入れていくかというのは考えていかないとけないと思います。

福井駅周辺が整備され、これから県外から来る人は増えてくるので、外から来た人にとって分かりやすい利便性の高いものをということで、今回こういう提案があったと思いますので、坂井市の中でどのようにしていくかというのは考えていく必要があるのではないのでしょうか。

福井駅西口バスターミナルやえちぜん鉄道福井鉄道相互乗入れなど、3月27日以降、公共交通の環境が大きく変わりますので、坂井市民の方も興味を持って見ていた

だきたい。

(岡田委員)

3月27日の西口交通広場がオープンというのは非常に大きなことで、人によっては100年に一度あるかないかというイベントです。

また、鉄道と軌道の相互乗入れは日本初で注目を浴びています。

今後、国体の開催や新幹線の延伸、ハピリン開業などもあり観光には追い風になっておりますので、坂井市の方へも恩恵が来るといふようなことを踏まえてお知らせいだきたい。

## 6. 閉会